

営農型太陽光発電

ー作物生産と太陽光発電の 共存に向けた研究紹介

エネルギー・環境問題が深刻な今では、あらゆる分野において省エネ化に資する技術開発が求められています。温室栽培において、商用電力や燃料が投入されることがあります。太陽光発電を含む再エネの利活用は、化石由来のエネルギー消費量を削減できます。しかし、作物の光合成と太陽光発電はともに日光が必要なため、同一地点で両者の共存は難しい挑戦です。今回は私の研究成果を中心に営農型太陽光発電の研究事例を紹介します。



講師

李 治 助教

(島根大学 生物資源科学部 環境共生科学科)

講師紹介:

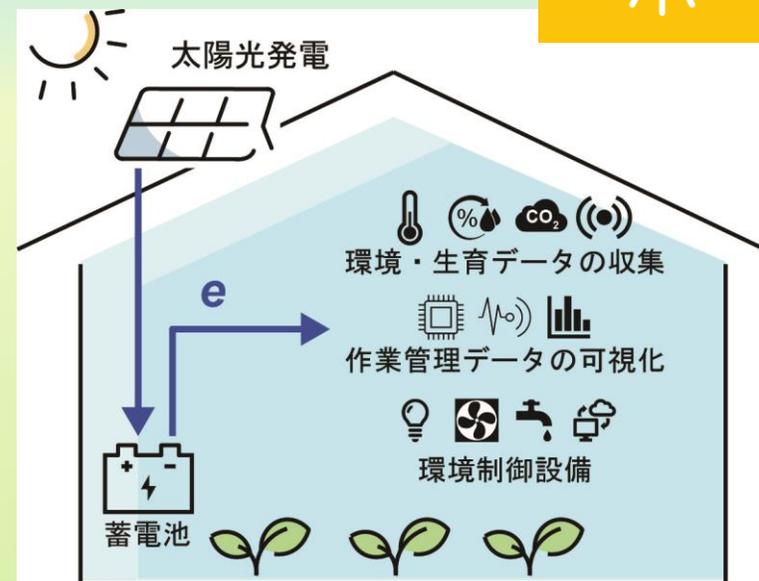
専門は、環境・農学/農業環境工学、農業情報工学。
省エネルギー化の視点から、太陽光発電や電気工学
を利用した環境制御システムの開発について研究して
います。

日時

2022.10.17(月)

15:00~16:10

司会：吉田 修 URA
(島根大学 オープンイノベーション推進本部)



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



Zoomによる
オンライン開催
先着100名・参加無料



こちらから
お申込み
いただけます。



https://www.leaf2.shimane-u.ac.jp/enquete/no/science_cafe1017

申込締切 10.17(月)13:00